

検査Ⅲ 音楽

(解答上の注意) 解答は、すべて解答用紙に記入すること。

- 1 次の文章は、高等学校学習指導要領「芸術 第2款 第1 音楽Ⅰ」より「1 目標」である。(A) ～ (F) に当てはまる適切な語句を答えなさい。

音楽の幅広い活動を通して、(A) な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の(B) や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) (C) と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己のイメージをもって音楽表現を(D) することや、音楽を評価しながらよさや(E) を自ら味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、(F) を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

- 2 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

J. S. バッハ(1685～1750)が死去し【 a 】(1732～1809)が活躍を始める18世紀半ば頃からを(あ)の時代と呼んでいる。この時代の音楽様式の特徴としては、感情に流されない均整のとれた形式感、(い) (旋律に対して和声的な伴奏をおこなう音楽)による明快な和声語法、(う)からの脱却、(え)に代表される音楽形式の確立などがあげられる。またイタリア、【 b 】という古くからの音楽の中心地に、ドイツ、【 c 】が加わり、最終的には後者が優勢になっていく。

(あ)の音楽様式は、J. S. バッハが活躍した18世紀前半には既にはっきりと現れており、【 a 】以前のこうした作曲家群を(お)として整理することが多い。J. S. バッハの息子で、ドイツ各地で活躍したC. P. E. バッハ(1714～1788)、イタリアのG. B. サンマルティーニ(1700頃～1775)らは、(い)による明快な形式の器楽合奏曲を数多く残し、18世紀後半から19世紀にかけて隆盛する(か)や(き)などを準備することになった。

富裕な貴族エステルハーゼ家の宮廷楽長を務めた【 c 】の作曲家【 a 】は、100曲以上の(き)、60曲以上の(く)を作曲した。(あ)の中心的なこれらのジャンルを確立するとともに、作品の中で(え)の可能性をさまざまな形で追究した。また、(き)の作曲を通じて、2管編成と呼ばれる(け)を2本ずつそろえた標準的なオーケストラ編成を定着させた。同じく【 c 】のザルツブルクに生まれた【 d 】(1756～1791)は、幼いころから神童としてヨーロッパ各地で演奏を披露するとともに、各地の音楽様式を吸収しながら、(き)、協奏曲、オペラなどのジャンルで作品を残した。【 a 】と【 d 】およびL. v. ベートーヴェン等は、【 c 】の【 e 】を中心に活躍したことから、【 f 】と呼ばれることがある。

検査Ⅲ 音楽

- (1) 【 a 】から【 f 】に当てはまる語句を答えなさい。
 (2) (あ)から(け)に当てはまる語句を以下の語群 ①～⑱より選択し記号で答えなさい。

- ①前古典派 ②ポリフォニー ③通奏低音 ④金管楽器 ⑤教会旋法
 ⑥ソナタ形式 ⑦弦楽器 ⑧原始主義 ⑨弦楽四重奏曲 ⑩交響曲 ⑪楽劇
 ⑫交響詩 ⑬古典派 ⑭ホモフォニー ⑮新古典主義 ⑯器楽ソナタ
 ⑰木管楽器 ⑱ロンド形式 ⑲ロマン派

- (3) (え)について正しく説明している例として以下の(ア)～(ウ)より選択し記号で答えなさい。
 (ア) 全体が三つの部分に分かれ、各部分が三部形式や二部形式などからなるもの。
 (イ) 主題となる旋律が違う旋律を挟みながら繰り返し現れる形式。
 (ウ) 二つの主題を対比的に用いて、技巧豊かに展開していく形式。提示部・展開部・再現部の三つの部分からなる。

3 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

琵琶は果物の琵琶に似た形の胴をもち、(①)または(②)の弦を張る。西アジアから中国を経て8世紀初頭に雅楽の楽器(③)として日本に伝わった。平安期には(④)が(③)の小型のものをを用い始め、鎌倉期には(⑤)を語る際の伴奏に使われるようになった。江戸期には九州の盲僧が当時大流行の三味線に倣い改造した(⑥)を考案し、さらには武士や町民にも楽しまれたことから(A)琵琶と筑前琵琶などの近代琵琶が生まれた。琵琶のサワリを交えた独特の音色や表現性は海外からも注目され、尺八と共に和楽器の新たな地平を開いた作曲家(B)の「ノヴェンバー・ステップス」は聴かせたい教材の一つである。

- (1) (①)～(⑥)に当てはまる語句を答えなさい。
 (2) (A)に当てはまる語句を以下の語群 イ～ニから選択し記号で答えなさい。
 イ 薩摩 ロ 越前 ハ 長州 ニ 備後
 (3) (B)に当てはまる作曲家名を漢字で答えなさい。
 (4) 作曲者(B)の作品を以下の語群 イ～ニから選択し記号で答えなさい。
 イ かしどきと平和 ロ 涅槃交響曲 ハ 小さな空 ニ 花の街

4 (別紙)楽譜1および楽譜2を見て以下の問いに答えなさい。

- (1) A～Cに示す和音の種類をコードネームで答えなさい。
 (2) ①～④に示す2音間の音程を答えなさい。
 (3) アで示した音を下中音とする長調の平行調は何調かドイツ語で答えなさい。
 (4) イで示した音の実音を日本音名で答えなさい。

(別紙)

楽譜 1

Andante sostenuto

Flutes I, II
Oboes I, II
Clarinets in B ♭ I, II
Bassoons I, II
Horns in F
Trumpets in F
Trombones
Bass
Tuba

A
B
1
2

楽譜 2

1 Vlns.
2 Vlns.
Vlas.
Vci.
Dbs.

3
4
ア
C
イ